

令和6年度
下水道排水設備指定工事店講習会

公共ます新設等工事に 関すること

富山市上下水道局
給排水サービス課
下水道排水サービス係

手続きの流れ

- ①下水道台帳や現地調査等で公共ます新設（自費）の可否を確認。
（婦中、八尾、大沢野地域は下水道課に申請を行うことで公費で設置できる場合がある）
- ②下水道課に**事前確認申請書、位置図、公図、全部事項証明書**を提出（下水道課での「事前確認」）。
- ③下水道課から確認結果の連絡を受けてから、給排水サービス課に**公共ます新設の申請書**を提出。
（その際に事前確認結果通知書を受け取る）
- ④道路占用申請許可の連絡を受けたら、**工事決定等承認通知書及び占用許可書の写しを受領後に工事着手**。

補足事項等

・ 婦中、八尾、大沢野地域や下水道処理区域内で下水道本管が整備されていない場所の場合、下水道課に公共ます布設要望の申請を行うことで、公費で設置できる場合があるので下水道課で確認すること。

・ 下水道課からの事前確認通知書は受益者負担金や区域外申請についてお客様に伝わらないというトラブルを防ぐためのもの。確実に手渡すこと。

申請書類

申請時の提出書類	サイズ	道路種別ごとの部数				備考
		市道	国道県道	私道	法定外	
公共下水道施設における工事等承認申請書	A 4	1部	1部	1部	1部	下水道法第16条の規定に基づくもの 様式あり
公共ます及び取付管新設等申請書	A 4	1部	1部	1部	1部	様式第17号
位置図	A 4	2部	4部	2部	2部	施工箇所が中央になるよう調整する
計画平面図	A 4	1部	3部	1部	1部	公共ますの位置が特定できる寸法を記入 (上流人孔からの距離等)
取付管布設断面図	A 4	1部	3部	1部	1部	公共ますタイプ1、タイプ2の様式あり
アスファルト舗装 復旧断面図	A 4	1部	3部	1部	1部	市道、県道の様式あり
道路占用申請図面	-	1部	3部	-	1部	給水やガス等、同時に工事を行うもの も図面に記載する
計画工事工程表	-	-	3部	-	-	様式あり
工事現場の保安 施設図	A 4	1部	3部	1部	1部	
地下埋設物に対する 協議承諾書	A 4	1部	1部	1部	1部	様式あり(電話・電力・ガス等)
着工前写真	A 4	1部	3部	1部	1部	県道は3方向から撮影した写真 本管を黒線、取付管を赤線で表示
全部事項証明書 及び公図 ※2	-	-	-	1部	-	私道の所有者に関するもの(写し可)
法定外公共物同意書 及び公図	-	-	-	-	1部	同意書は様式あり(公図は写し可)
承諾書(用水・私道・ 農道等) ※1	-	各1部	各1部	各1部	各1部	様式あり

上記以外に別途道路管理者等から求められた書類の提出が必要となる場合があります。

※1 用水・農道の管理者、私道所有者が存在する場合には、提出が必要です。

※2 全部事項証明書は、「私道の所有者」が明らかにされたものであり、公共ます設置場所のものではありません。

・令和5年度から下水道法第16条の規定に基づく公共下水道施設における工事等承認申請書も提出が必要になった。下水道法第16条には公共下水道管理者以外の者は、公共下水道管理者の承認を受けて、公共下水道の施設に関する工事又は公共下水道の施設の維持を行うことができると規定されているため、この16条の申請が必要となる。

・国道、県道については道路管理者との協議の際に書類を渡す必要があるので、提出部数が多くなっている。計画工事工程表も必要。

・私道の場合は、その私道の所有者がわかる全部事項証明書と公図、及びその所有者の承諾書が必要となる。全部事項証明書については、引き込む土地のものではなく、占用する私道のものを提出すること。

・法定外公共物の場合は、法定外公共物を管理する町内会や土地改良区の同意書と公図が必要となる。

公共下水道施設における工事等承認申請書

公共下水道施設における工事等承認申請書

令和5年 4月 1日

(宛先) 富山市上下水道事業管理者

申請者 住所 〒 930-0000

富山県富山市〇〇町×丁目1番1号

〇〇株式会社

氏名 代表取締役 下水 太郎

下水道法第16条の規定に基づき、公共下水道施設に関する工事を行いたく、下記のとおり申請します。

記			
場 所	富山市 〇△〇△ 地内	新設する公共ます・取付管の規格を記載	
目 的	公共ます及び取付管の新設するもの		
申請物件	種 類	規格・規格	数 量
	公共ます	ふた：楕円形 φ20cm ふた：鉄製 φ20cm タイプ：VU フリーインポート タイプ：VU 底付三方	1箇所
	取付管	VUφ150mm VUφ100mm	L=3.00m
期 間	令和 5年 4月 15日 から 令和 5年 5月15日 まで		
工事施工者	株式会社××建設工業 担当者： 富山 次郎 TEL： 076-999-1234		
添付書類	①位置図 ②平面図 ③縦断面図 ④道路占用図 ⑤現況写真 ⑥その他（保安施設図、協議記録書、同意書、工程表）		
備 考	添付書類は別途用意する必要はありません		

いわゆる「16条申請」

- ・ 様式及び記載例はHPに掲載
- ・ 申請者は、新設等申請書と同じ公共ます工事の発注者
(工事の施工業者ではない)
- ・ 申請物件の欄には、公共ます、取付管の規格を記載
- ・ 取付管の数量の欄は本管から公共ますまでの水平距離
- ・ 「添付書類」欄の提出は不要
(新設等申請書と兼ねるため)

これから説明する内容は

富山市公共ます及び取付管
新設等申請に係る施工指針
に基づきます

富山市ホームページでも
閲覧可能

富山市公共ます及び取付管
新設等申請に係る施工指針

2023 年 7 月

富山市上下水道局
給排水サービス課

計画（竣工）平面図

上流人孔からの距離だけでなく、
下流人孔からの距離も記入

公共ますを複数設置する場合は、
一枚の平面図にまとめて記入

距離等の測り方

人孔からの距離：

人孔の中心から取付管接続部まで

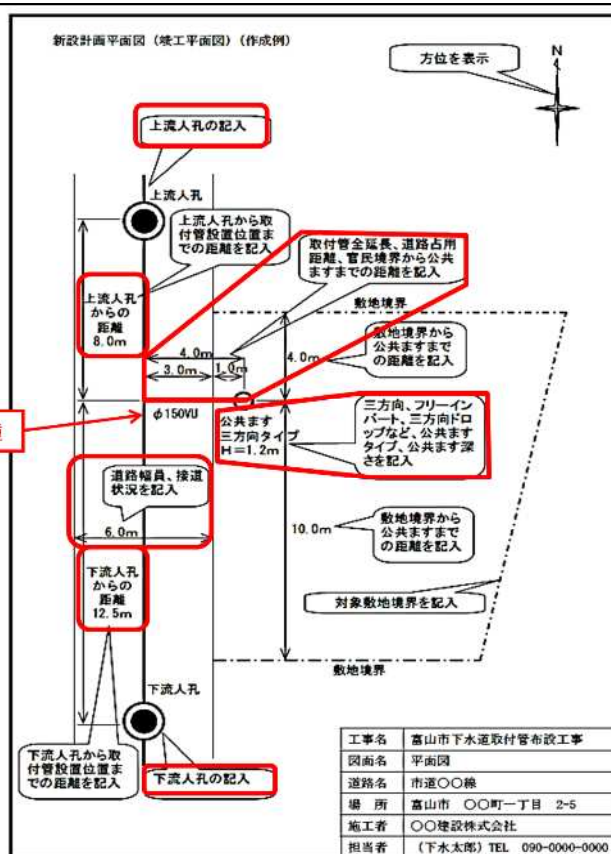
取付管延長：

取付管接続部から公共ます中心まで

公共ますの深さ：

公共ます底部から地盤面まで

管径・管種



6

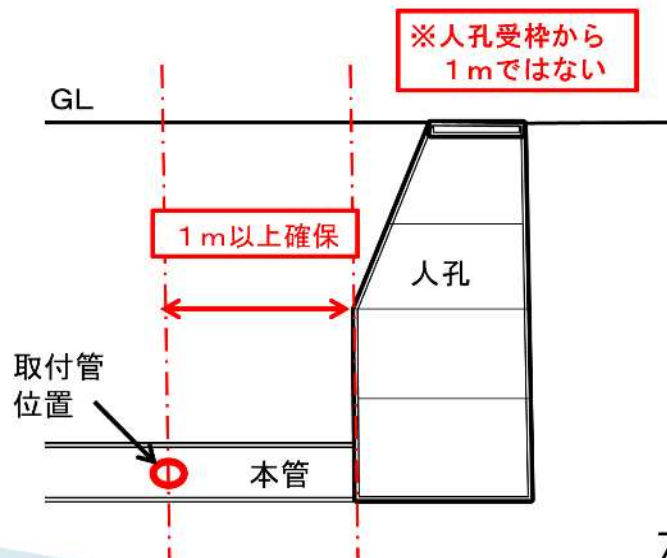
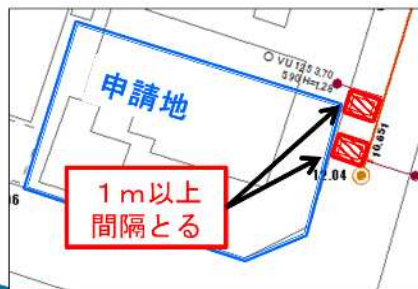
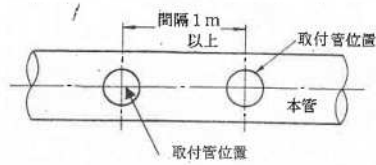
・ 記載する内容は、上流人孔と下流人孔の位置、取出し位置の上流人孔からの距離と下流人孔からの距離、取付管全延長と道路占用距離と官民境界から公共ますまでの距離、取付管の管径管種、公共ますの三方かフリーインバートかなどのタイプ、公共ますの深さ、道路幅員、接道状況、敷地境界など。

・ 記載する距離などについて、人孔からの距離や取付管距離が竣工図面と現地で異なる事例が散見される。施工業者から提出された竣工図面の情報を下水道台帳に反映させているので、正確な情報を記載すること。

取出し位置の注意事項

○取付管の布設間隔は1 m以上離す

○人孔付近では人孔「外壁」から1 m以上離す



7

・ 取付管同士の設置間隔が狭いと施工性も悪く、場合によっては本管の強度低下につながり、維持管理作業にも支障となる恐れがあるため、付近の既設の取付管から新規の取付管は芯から芯で1 m以上間隔を開けること。

・ 掘削の影響幅から人孔までの距離が1.2 m未満となる場合、人孔の周囲も本復旧するよう道路部局から指示される。

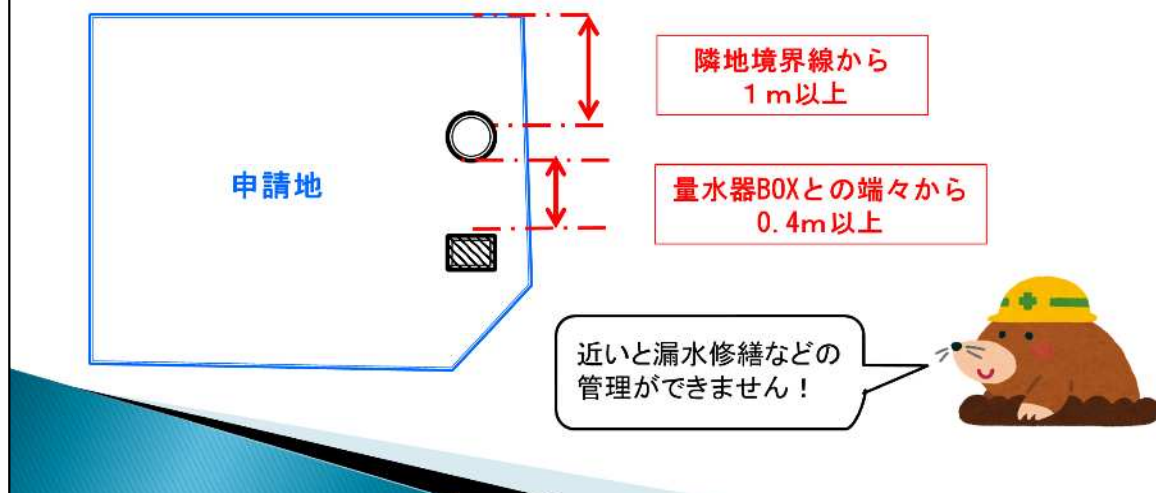
おおよそ人孔蓋の中心から2 m程度離せば、外壁から1 m以上は離れることができる。さらに近くで取出したい場合は、現地で人孔蓋を開けて中を確認したり、下水道台帳での調査を十分に行うこと。

(1号人孔の場合、人孔蓋は60 cmですが、中の外壁は直径約1.1 mある)

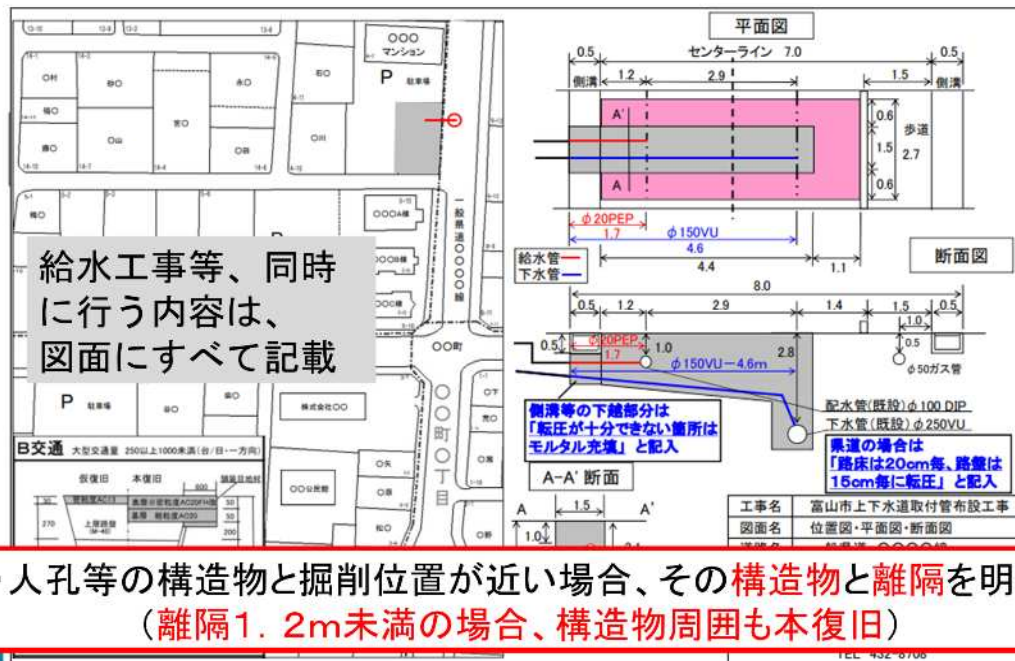
敷地境界・量水器BOX間の離隔 *R6new*

公共まずは原則…

- ・ 隣地境界線から 1 m以上離れた位置
- ・ 量水器BOXの端から0.4m以上離れた位置



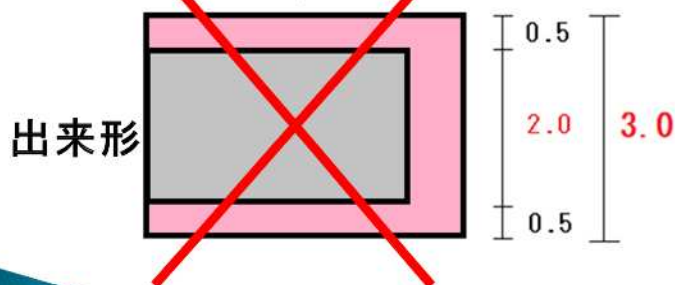
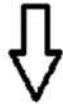
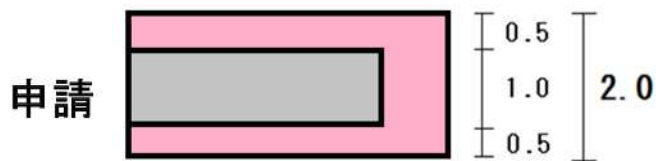
道路占用申請図面



- ・道路管理者は、どのように掘削し、どのように復旧するのかを重視するので、作成の際には十分留意すること。
- ・図面には、掘削幅、本復旧時の影響幅、占用物件の管種管径、占用延長、側溝幅等の距離を明記すること。
- ・給水管と排水管両方を取り出す場合には、どちらがどの管かわかるように異なる色で記載すること。

道路掘削幅・復旧幅について

R6改訂



設計図の時点で
疑義ある図面多数！！
その幅で矢板・パネルは
入りますか？？
本当に人間が入れる幅？

★申請図面通りの施工が基本

- ・ 出来形や施工方法が申請と異なる場合は、**申請どおりにできなかった理由**を問われる
- ・ 現場担当者は**設計内容を理解してから施工**すること（曖昧施工は事故のもと！）

10

・ 占用の許可をした道路管理者は、申請の計画図に対して許可しているため、原則申請図面通りに施工をしなければならない。出来形や施工方法が申請と異なる場合には、申請通りに施工できなかった理由の説明を求められる。場合によっては、変更許可の手続きや始末書等の対応などが必要となる。事前調査を念入りに行って申請図面を作成するようにすること。

県道の舗装復旧

既設舗装厚が $t=5\text{ cm}$ であっても
基層 5 cm・表層 5 cmの合計 10 cmで本復旧しなければならない

県道アスファルト舗装復旧断面図



申請書の復旧断面
B交通 ($t=10\text{ cm}$)
 ↓
 既設舗装厚が5 cmだから
 現場判断で **5 cm** で本復旧
 ↓
やり直し

- ・ 冬期掘削禁止期間（12/15～3/10）に注意
- ・ 申請は9月中提出を目標に（規制に間に合うように）

・ 冬期期間前の本舗装は余裕をみて11月までに終わるよう計画すること。そこから逆算して、取出しの施工自体は10月までに行うように計画すること。

法定外公共物の確認

法定外公共物の有無は
給排水サービス課では確認できない

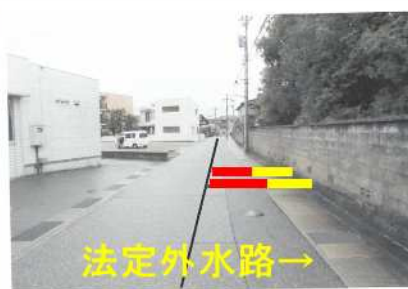


道路河川管理課 又は 土木事務所建設課 で確認
(市役所本庁舎内) (大沢野行政サービスセンター内)

市道の占用部分と法定外公共物の占用部分の色わけと凡例の記入を
平面図も同様に色分けを行う

■ 下水道本管
■ 市道占用部分
■ 法定外公共物
占用部分

↑
凡例を記入



12

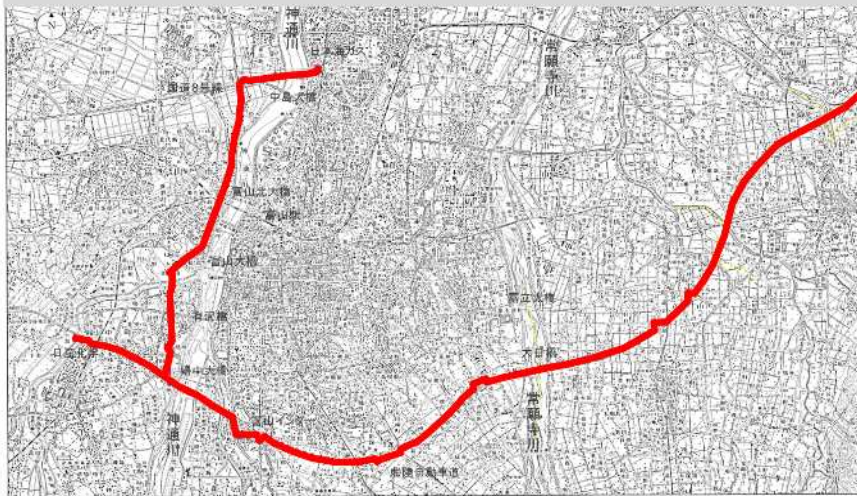
・ 工事場所に、法定外公共物があるかどうかは、事前に確認すること。

(特に法定外「水路」は見た目では判断できない。)

地下埋設物に対する協議（１）

ガス・電力・電話の３インフラについて確認するのが原則だが…

(株)INPEXパイプライン（旧帝石パイプライン(株)）の配管布設箇所図



※パイプライン埋設道路内で工事する場合は、車線の何処に関わらず事前協議を

- ・ 株式会社INPEXパイプラインのガスパイプラインは北陸自動車道に沿って布設されており、さらに婦中大橋西口から北へ向かって県道富山環状線に布設されている。

地下埋設物に対する協議（２）

原油パイプライン（四方地内）布設箇所図



※パイプライン埋設道路内で工事する場合は、車線の何処に関わらず事前協議を

- ・ 四方地区にある火力発電所の原油パイプラインは富山新港火力発電所と事前協議をすること。

私道への取付管理設に関する承諾書

承 諾 書

年 月 日

（宛先）富山市上下水道事業管理者

土地の所有者・住所
（土地の管理者）氏名

このたび、
について、下記の事項を承諾します。

型

1 財産の位置は、富山市 町 丁目（区）番地とする。

2 占有料は、無償とすること。

3 公共取付管布設工事の修繕工事等が生じる場合は、その施工を認めること。

4 この承諾書の有効期限は、公共取付管の存続期間とすること。

5 公共取付管を布設する土地の所有権を他に譲渡する場合は、項1～4の権利、義務一切を譲渡人に継承させること。

備考 土地の所有権の譲渡は、土地所有者本人（法人にあっては代表者）が自署してください。ただし、本人（法人にあっては代表者）が自署することができないときは、土地所有者が個人の場合にあっては認印のうえ本人捺印を添付し、法人の場合にあっては認名押印してください。

・ 様式はホームページにあり

・ 地権者が承諾する内容は…

- 1 財産の位置（**占用の場所**）
- 2 占有料は**無償**
- 3 修繕工事等を行う場合、**施工を認める**
- 4 有効期限は、取付管の**存続期間**
- 5 土地所有権を譲渡する場合は、**譲渡人に承諾内容を継承させる**

上記の承諾内容が含まれて
いない書類は受理しません

15

・ 同意事項が不足しており受付できない場合があるため、ホームページに掲載されているこの様式を使用すること。

・ 承諾書については、原則土地所有者本人の自署だが、法人の場合は記名押印でも可。

地元への工事案内について *R6new*

掘削工事を行っている「公共工事」と思われる

- ・ 地元への工事案内は、「全面通行止」「片側交互通行」の如何に関わらず確実に行う。
- ・ 案内方法は、町内会長の指示に従う。（回覧の有無等）
- ・ 町内会長の確認は「地区センター」へ。
（地区センターの検索は、市ホームページで）
- ・ これまでの「確認書」や「承諾書」は作成を要しないこととするが、案内が徹底されていない場合は、提出を義務化する可能性がある。

地元の理解を得て工事を円滑に

16

- ・ 従来からの、「光陽校区」や「神明校区」などの、特定地域の確認書や同意書は今後提出不要。



常に「**見られている**」意識で



- ・ 警察署長の許可を得た交通規制方法で行う
- ・ 危険な状態で行わない
 - × 敷き鉄板の下に人がいるまま車両を通行
 - × 土留めを行わず掘削
 - × ガス事業者などの立会いを求めぬまま工事開始
- ・ 後片付け、現場の整理も的確に

今年度は、

「警察署に情報開示請求して道路使用許可証を確認したら、許可された方法と異なる方法で工事を行っている」

「敷鉄板の下に作業員がいるにもかかわらず、車両を通行させている」

という苦情が寄せられた。人も車も来ない現場でも「誰かが見ている」意識で施工するように心がけること。

取付管支管



ハンドル付き可とう支管は、本管口径や管種に応じた製品が日々拡充されている。メーカー等に問い合わせ、適切な製品を使用する。

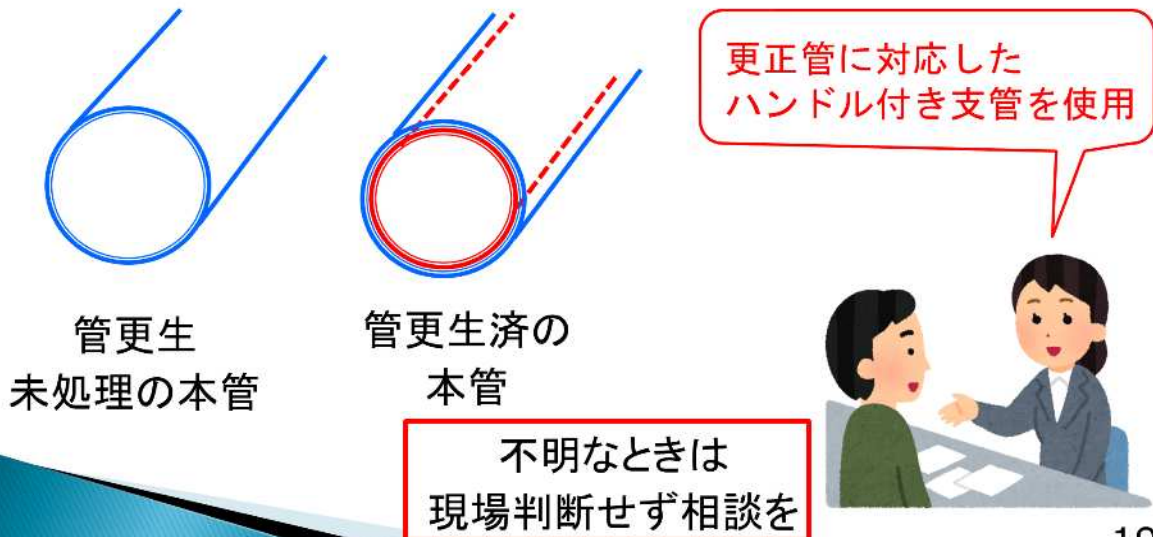
ゴム輪の支管は使用不可

「付けてしまった」は
通用しません



管更生されている支管の選定

管更生されている下水道本管は肉厚が増す



19

・下水道が整備されてから何十年もたっている富山市の中心部などでは、下水道本管の劣化に伴い、管更生が行われている箇所がある。

ハンドル付き可とう支管施工上の注意



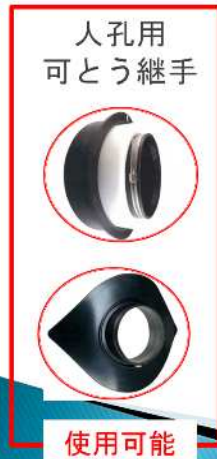
- ・本管のせん孔は、管種にあったホルソーを使用
- ・ヒューム管にサンダーを使用してせん孔しない
- ・本管に削孔機固定用アンカーを打たない

20

・ハンドルの締め込み不良の場合、下水道管内に地下水や土砂が流入し、道路陥没が発生する可能性があるため、締め込みは確実にを行うこと。また、ハンドルの回転数は、本管の管種やメーカーによって違うため、必ず施工前に確認してから施工すること。

人孔から直接取付管を取出す場合

人孔直接取出しは原則不可
他に方法がない場合は
例外として認めている



人孔との接続は可とう継手を使用

可とう性のない製品を
使用した場合は「やり直し」

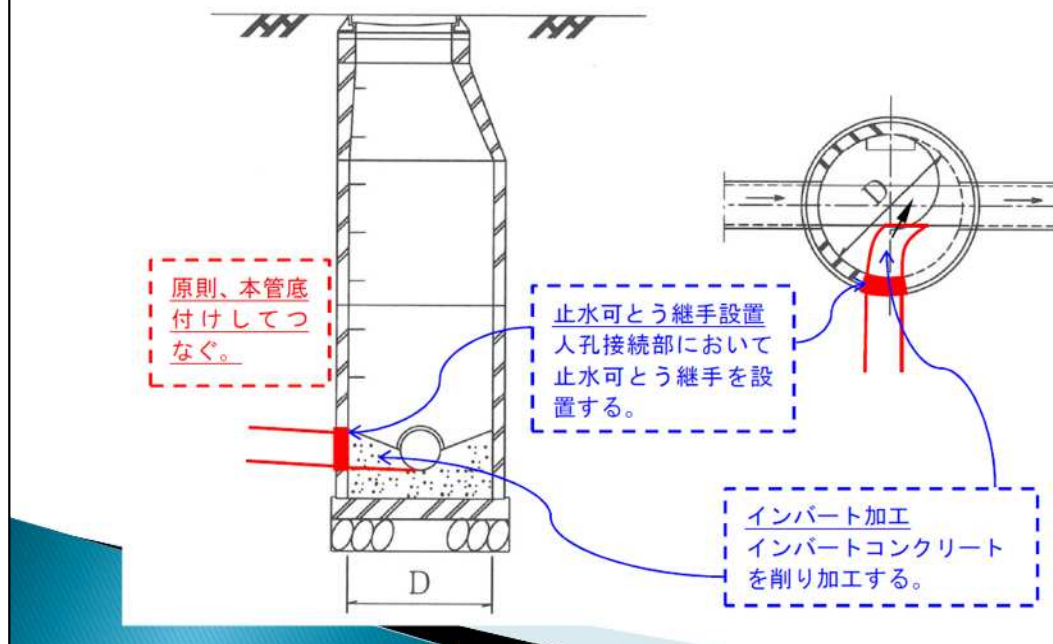
21

・人孔から直接公共ますを取り出す場合、原則、申請地に下水道本管が面してなく、起点人孔からしか取り出せないという場合にのみ認めている。単純に本管が深いからという理由だけでは認めていない。施工上本管から取り出すことが極めて困難で、起点人孔以外から取り出したい場合については、事前に対象地域の維持管理部門である「上下水道施設管理センター」か「東上下水道サービスセンター」か「西上下水道サービスセンター」と協議をすること。

人孔への取付管の接続方法（１）

横断面

平面

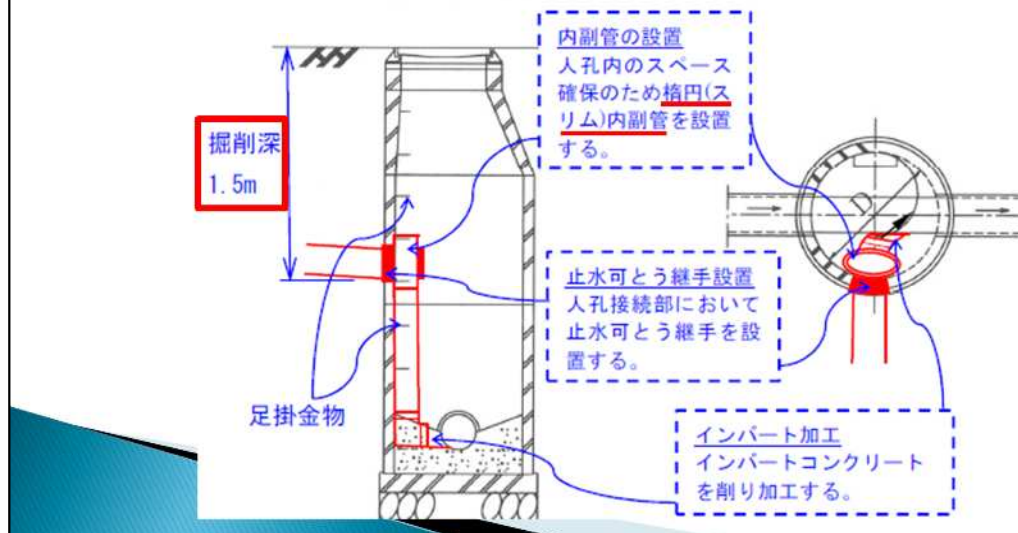


22

- ・ 削孔位置は人孔のコンクリートブロックのつなぎ目と10cm以上離すこと。
- ・ 人孔内のタラップを避けて内副管を設置できない場合はタラップを移設すること。

人孔への取付管の接続方法（２）（内副管）

取付管を人孔底付できない場合、
副管の設置を認める場合がある（**要事前協議**）



23

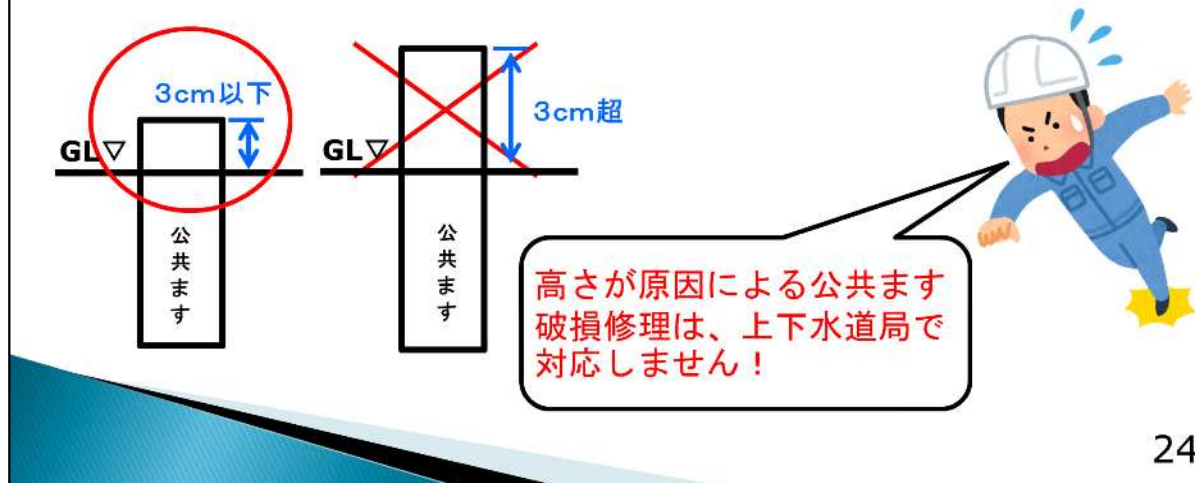
内副管を設置する際の注意点として

- ・ 掘削深は1.5m以上にする。
- ・ 人孔直壁の削孔位置は、直壁のつなぎ目から10cm以上外した場所で行うこと。
- ・ 副管が、人孔内の足掛金物を避けられない場合は、足掛金物を移設すること。
- ・ 副管は、楕円型の「スリム内副管」を設置すること。

公共ますの仕上がり高さ

公共ますの地上高が高すぎると、破損の原因に
公共ますの地上高は **〔GL+3cm以下〕** に

その後、造成等により高さが足りない場合は、かさ上げ対応



写真提出時のチェックリスト

チェックリストの**内容が確認できる写真**を撮影



舗装仮復旧までの**写真一式と完成図**と併せて**本書**も提出

(本書は確認後一旦返却する)



舗装本復旧時**も**、チェックリストの**内容が確認できる写真**を撮影



施工後、本復旧施工**写真一式と本書**を併せて提出

給排水サービス課
富山市公共ます及び取付管新設等写真提出時のチェックリスト
提出日1(仮復旧まで): 年 月 日 (局側でコピーして施工者へ一具返却する)
提出日2(本復旧まで): 年 月 日 (最終提出段階)
工事の施工者名: 局側確認者:
仮復旧及び本復旧写真提出時に、以下のリスト太枠内にチェックを入れて写真と合わせて提出する。
(注:該当箇所すべてにチェックが入る。確認できない場合、施工やり直しをお願いする場合があります。)

項目	チェック内容	実施確認	写真添付	局側確認
1. 舗装切替	舗装仮復旧、掘削直前に必要最小限の範囲でカットしたか。(掘削直前に舗装切断している写真をつけたか。)			
2. 取付支管	取付支管設置は可とう性簡易型を使用し、設置角度は45度を標準とし、それによらない場合は取付管底が本管の中心より上方に設置したか。(可とう性簡易型取付支管を設置した写真、取付管全体が分かる写真をつけたか。)			
3. 公共ます	3方向orフリーインバートタイプの公共ますを官民境界から1m以内、深さ80cm以上に設置したか。(箱尺を入れ、公共ますが設置された写真をつけたか。)			
4. 埋戻し	取付管の支管部、直管・曲管部に砂で巻き立てたか。(管の下部10cm、上部10cmを確保し、十分に締固めている写真をつけたか。)			
	路床と下層路盤の間に下水用埋設標準シートを敷いたか。(箱尺を入れ、路床最上層に下水用埋設標準シートを敷設した写真をつけたか。)			
	路床は二層の仕上厚が20cmを超えないように振動ローラーorタンバで十分に締固めたか。(箱尺を入れ、各層全ての写真をつけたか。)			
	下層路盤、上層路盤は二層の仕上厚が15cmを超えないように振動ローラー又はタンバで十分に締固めたか。(箱尺を入れ、各層全ての写真をつけたか。)			
	掘削深1.5mを超える場合、土留工(軽量鋼矢板or建込み簡易土留め)を使用したか。(軽量鋼矢板or建込み簡易土留を使用した写真をつけたか。)			
	軽量鋼矢板or建込み簡易土留を使用して埋戻し際、埋戻土で埋まる部分の土留材を引抜後に転圧したか。(箱尺を入れ、土留材を段階的に引き抜きながら転圧した写真をつけたか。)			
5. 歩道境界ブロック、横断切溝、側溝、消雪等の道路構造物下を掘削した場合は、転圧できない部分をモルタル充填したか。(箱尺を入れ、埋戻しに合せ下・中・上と段階的にモルタル充填した写真をつけたか。)				
6. (県・国道の場合)上層・下層路盤において、現場密度試験を実施したか。(各路盤において、現場密度試験を実施した写真をつけたか。)				
7. 路盤最上層にアスファルト乳剤を全面散布し、指定の材料、舗装厚で仮復旧したか。外側縁等が引かれていた場合、引き直したか。(指定の舗装厚で本復旧(敷設等)したことが分かる写真をつけたか。)				
8. 仮復旧				
9. 本復旧				

ホームページに様式あり
添付漏れが非常に多い書類

土工の施工管理 *R6new*

あらかじめ土工図を理解した上で施工

判断誤り多発
間違った埋戻しは
やり直し対象の可能性
(施工指針を参考に)
27・28ページ

路盤は**15cm**を超えない深さで

路床と路盤の間に埋設シート
シートは「ダブル」仕様
(アルミ蒸着は指定していない)

路床埋戻は**20cm**を超えない深さで
何層実施するのか事前に想定
しておく(間違い防止)

※市道A交通、管路上かぶりH=1,150の場合を想定したものである。



国・県道工事における提出書類

国道・県道における施工後の写真等は **2部ずつ**
(うち1部はコピーで可)

- ・ 舗装仮復旧後の提出資料
施工写真、舗装の出来形測定表、
上層・下層路盤の密度試験結果報告書、
路盤材料試験結果報告書
- ・ 舗装本復旧後の提出資料
施工写真、舗装の出来形測定表、
舗装の品質管理報告書、配合設計報告書

27

・ 県道と国道については、道路管理者に渡す分と給排水サービス課で保管する分が必要となるので2部ずつ提出すること。

施工日の連絡と書類提出のタイミング

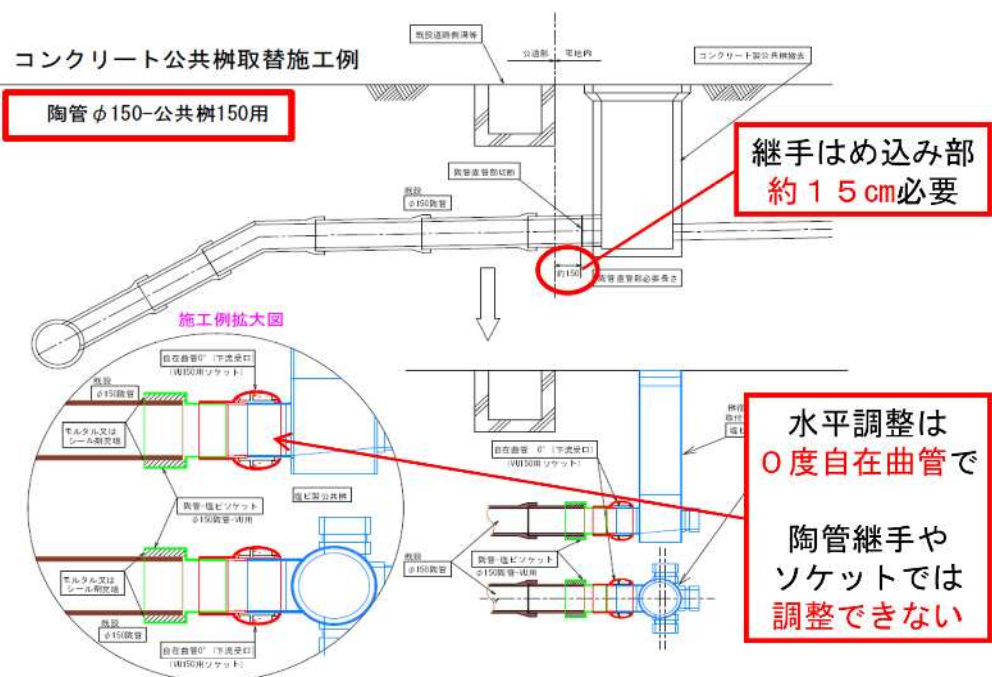
- ・ 施工日の連絡（電話可）
→ 施工日の前日まで
（給水同時工事の場合「給水工事も同時」と伝えて）
- ・ 完工図、施工写真、仮復旧写真
→ 施工後すみやかに提出
- ・ 本復旧写真
→ 本復旧後すみやかに提出



連絡がないと
どこの何の工事が分からず
問い合わせに対応できない！

本復旧が終わってから
まとめて提出しないこと

公共ますの交換 *R6補足*



29

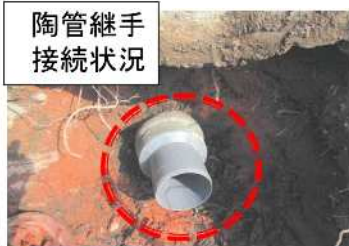
- ・ 交換の申請については施工前に行うこと。
- ・ 宅内排水設備も施工する場合については、排水設備の申請の中に含めることができるため、別途交換の申請は不要。
- ・ 変換ソケットとして陶管内に入れてゴム輪接続できる製品も使用可。

公共ます交換状況の写真撮影方法

着工前



陶管継手
接続状況



公共ます
設置状況



取付管



TP
150mm

取付管の管種がわかる写真
欄外に管種と口径を表記

公共樹の深さ



完了



公共ますの撤去

- ・下水道本管から取付管、公共ますまでは上下水道局の資産
- ・撤去の要否は、その土地の長期的な使用形態を見据えて慎重な検討を

（２）撤去時の対応・提出書類

公共ますを撤去し、官民境界位置で取付管の切断を行い、土砂流入しないように民地側からキャップ止め等、小口止めする必要がある。工事完了後、申請書（新設等と同じ様式）、位置図、台帳図（撤去したますに×印）、工事状況写真（施工前、小口止め、埋戻し後の各写真）を提出する。

・提出書類

申請時

申請書、位置図、台帳図

完了後
写真

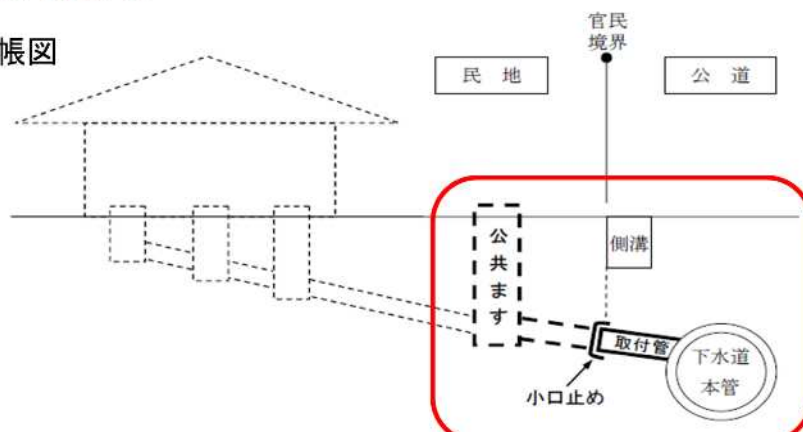


図 2-11 公共ます撤去後イメージ

- ・撤去の申請については施工前に行うこと。

公共ます撤去状況の写真撮影方法



管径 150mm
管種 TP
深さ 1.1m

取付管の管種がわかる写真
欄外に管種・口径・深さを表記



管末処理状況がわかる写真

32

- ・ 陶管の場合の処理は陶管キャップかもしくは陶管ソケットと塩ビキャップでキャップ止め。

写真管理の一例（不適切な例）

R6new



工事の適否を確認する方法は「写真」

「きちんと工事した」証拠も「写真」

不鮮明な写真は「やり直し」の危険も

カメラの性質を理解して鮮明な撮影を！